

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染状況も下火にあり、ウィズコロナが進んだようにも感じる。7～8月は夏休み期間なので、良くなるとみている。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染に収束感がある。
	○	商店街（代表者）	・全国的に新型コロナウイルスに対する規制緩和が始まっている。
	○	一般小売店〔医薬品〕 （経営者）	・顕著な動きを見せていた新型コロナウイルス関係の商品が今後どうなるかは未知数であるが、通常の客は良く来てくれており、平日の売上の動きが大変良いので、少しずつ上向きになっていくとみている。
	○	百貨店（売場担当）	・感染状況に変化がなければ、今後も良い状況が続くとみている。ただし、コロナ禍の新しい生活スタイルのなかで、衣料品は優先順位が低くなっており、良くては緩やかな回復程度になると考える。
	○	百貨店（催事担当）	・新型コロナウイルス対策の規制緩和や各種イベントの再開により、旅行や出張等で人の移動が増えてくれば、消費の回復が期待できる。
	○	百貨店（計画担当）	・このまま新型コロナウイルスの感染が収束に向かう前提であれば、外出の機会が増えることにより、衣料品を含むここ2～3年苦しかった領域のリバウンド消費が見込まれる。
	○	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まっているが、3回目のワクチン接種が進んだことと、県民割などの利用者が増加することで、人の動きが出てくるとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・県民割クーポンを利用する客も若干増加している。イベントも規模は縮小とはいえ開催されるなど、人の動きが出てきているので、緩やかな回復傾向が続くとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・行動制限がなくなり、後は天候次第である。天候が良ければ伸びていく。
	○	コンビニ（経営者）	・夕夜間に散歩する人が多くなるとみている。遅い時間帯は単価の高い客が多いので、売上アップを期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・まだ油断は禁物だが、ここ最近来客数も少しずつ戻ってきた。夏祭りも開催するので売上が上がるとみている。厳しい冬に向けて少しでも夏場に利益を確保しておきたい。
	○	コンビニ（経営者）	・来客数の減少は避けられないが、人の動きが活発になってきており単価の増加が見込めることから、やや上向くと推測される。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種が進んでおり、これから夏に向かうことから、人の動きが良くなるとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス次第である。盛夏に向け人流増加となれば、来客数の伸びも期待できる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・イベントも増加傾向にあり、来客数の動きが新型コロナウイルス発生前に近づいてきている。天候の状況にもよるが、今後の売上増加が期待できそうである。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスに関する規制は段々と緩和されており、元に戻りつつある。
	○	衣料品専門店（経営者）	・祭りや各種行事も徐々に開催されるようになり、人出もかなり増加している。来店客も増え、売上に結び付くことを期待する。
	○	衣料品専門店（経営者）	・例年どおり大規模な祭りなどが開催される予定であり、経済効果を期待したい。
	○	衣料品専門店（店長）	・今後、いろいろな催し事が再開されるような雰囲気がある。会合や同窓会などが再開されると当然、それに伴うニーズが増えてくるので、少しずつ上向いてくるのではないかとみている。
○	衣料品専門店（店長）	・ウィズコロナの生活にも少しずつ慣れてきて消費が戻りつつある反面、今後の物価上昇がどのレベルまで進行するのかという懸念材料もある。	
○	衣料品専門店（総務担当）	・来客数、客単価に上昇傾向の感じがあるので期待したい。	

○	家電量販店（従業員）	・ボーナスの支給により、購買行動に動きが出てくることが予想される。
○	乗用車販売店（従業員）	・上海のロックダウンが解除されるという報道があったので、今後は少し販売量が伸びるのではないかとみている。
○	乗用車販売店（従業員）	・今後、現在大きく下回っている売上計画をばん回できるほどの新車の生産が予定されている。納期遅れの新車が8月頃まとまって在庫予定になっており、下取車で中古車の販売にも動きが出ると見込んでいる。
○	住関連専門店（経営者）	・お盆用品等の売上が見込まれるため、やや期待が持てる。自粛していた仏事・行事も少しずつ増えるとみられるので、景気もやや良くなるのではないかとみている。
○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・このまま、まん延防止等重点措置等がなければ、売上は徐々に良くなる可能性が出てきたが、地方では良くても新型コロナウイルス発生前の7割、都市部では8割との見方が大勢である。どのような動きになるか予想できない。手探りながらもいろいろ試みながら進めている。
○	その他専門店〔食品〕（経営者）	・外国人観光客の入国制限緩和で、当地を訪れる人の増加が期待される。
○	高級レストラン（経営者）	・夏に向かって少しずつ回復し、良くなっていくとみている。
○	高級レストラン（支配人）	・宴会場の予約が徐々に入り始めている。Go To Eatキャンペーンの食事券を利用する地元客が多いが、レストランの来客数も増加傾向にある。
○	一般レストラン（経営者）	・人の流れが段々出てきているようである。生活習慣も変わったと思うので、夜の飲食街で会社関係が戻るにはまだ時間が掛かるが、やや良くなるのではないかとみている。
○	一般レストラン（経営者）	・今後は新型コロナウイルスもインフルエンザと同等の扱いになるのではないかとという声が多く聞こえるので、そうならば今よりは良くなっていくのではないかとみている。ただし、新規感染者数が増えれば増えるほど、以前のような状況に戻る可能性は否定できない。やはり、新規感染者数次第である。
○	観光型ホテル（スタッフ）	・地震被害の修理修繕が終了したので集客はある程度期待できる。
○	観光型ホテル（スタッフ）	・課題と不安が残るが、来月から訪日客再開が予定されている。
○	観光型旅館（経営者）	・ウクライナ情勢で混乱もあるが、経済再開の兆しもみえてきており、大きなことがなければ回復に向かうとみている。
○	旅行代理店（従業員）	・6月10日より訪日旅行が条件付とはいえ再開されることが決まり、新型コロナウイルスの感染が再び悪化しない限りはやや良くなると予想する。また、2～3か月後は夏休みとなり通常であれば繁忙期に該当する。
○	旅行代理店（従業員）	・今後のGo To Travel実施により、東北における最大マーケットへの期待が大きい。県民割で一定の伸びはあるものの、玉切れ感もあることから、Go Toキャンペーン再開への期待は業界全体として大きい。
○	テーマパーク（職員）	・来月の集客なども少し上昇傾向にある。
○	観光名所（職員）	・旅行業者の仮予約のキャンセルが減ってきて、そのまま確定することが増えてきている。団体を募集しても、それなりに来そうな状況になってきている。それに加え、個人客はまだ2～3人のグループが多いものの予約も徐々に増えつつある。回復に向かっているのではないかとみている。
○	競艇場（職員）	・大規模イベントはできないが、確実に集客が見込めるイベントの開催を予定しているため、期待している。
○	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・新型コロナウイルス発生前と比べて80%ほどに回復している。このまま回復基調が続くことを期待している。
□	商店街（代表者）	・最近になって社用の関係が多少増えている。高単価の客も多少動きがあるが、まだ採算性が良くなる感じではない。しばらくは採算ラインを割る状況が続くとみている。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いているものの、マスク生活は続いており、景気は横ばいである。
□	商店街（代表者）	・景気が良い感じはしないが、コロナ禍や物価上昇などに慣れてきている。

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	・7月に行われる参議院選挙を控え、人々は繁華街には出てこない習慣があるので、現在の悪い状況とほとんど変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔酒〕(経営者)	・マスク着用緩和等の報道を受け、ビヤガーデンの開催などの話も今年は早期の段階で進んでいるので、これからの景気回復に期待をしたいところだが、ここに来て主要商品であるビールの値上げが決定した。各メーカーが順次実施すると予想しているが、これがどのような影響を及ぼすのか心配している。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔寝具〕(経営者)	・客の買い控えは、世間のいろいろな問題を抱えての景気の悪さが影響しているとみている。
<input type="checkbox"/>	百貨店(経営者)	・夏場に向けて、新規感染者数も落ち着き、ウィズコロナでの消費活動が活発になると期待している。一方で、旅行などのコト消費への移行、物価高による生活防衛の動きが少しずつ大きくなることも懸念している。
<input type="checkbox"/>	スーパー(店長)	・商品の値上がりは相変わらず続いており、節約志向の客が相当数いる。この状況はまだまだ続きそうである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店(従業員)	・半導体の不足が解消されない限り、景気が良くなることはない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店(店長)	・直近でも再度の工場停止が発令されるなど、まだまだ工場の生産レベルは安定しない。多くの自動車ディーラーは客への納車が進まないため、中古車の在庫確保も難しく、収益の全体レベルは当分安定しない見込みである。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店(経営者)	・受注残があるので変わらない。ただし、新規物件はコロナ禍でなかなか動きがない状況であるため、4～6か月後となると厳しいかもしれない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕(従業員)	・ウィズコロナが加速していくとみている。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	・景気は上向き気配があるものの、新型コロナウイルスの感染状況、ウクライナ情勢とまだまだ不安要素があるため現状維持とみている。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン(スタッフ)	・営業状況は、新型コロナウイルス発生前とほとんど変わらないところまで回復してきた。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店(従業員)	・海外旅行の完全回復と団体旅行の回復がみえてこない限り、現状維持が続く。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新規感染者数が落ち着けば、良くなるとみている。
<input type="checkbox"/>	通信会社(経営者)	・営業部隊の人員増加や無線インターネット等の新メニューに加えて格安電気サービスなどの割安セットプランも導入し、加入者数の増加を図っている。このような新規展開でようやく現状維持の加入者取り込みができると考えている。放送サービスは、大きくは伸びていないが、拡張エリアでの戸別展開で少しずつ加入者を増やしていけると期待している。
<input type="checkbox"/>	通信会社(営業担当)	・インバウンドも増えていく流れにおいて、一部の業種で好況感が出るが、全体を押し上げるには至らないとみている。
<input type="checkbox"/>	遊園地(経営者)	・近県の学校団体の動きが不透明である。新型コロナウイルスの感染状況や値上げの推移もあり、好転した状況がこのまま順調に続くのは難しいとみている。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社(経営者)	・依然、価格確定の建売は良いが、注文建築は納期が確定できず苦戦している。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔リフォーム〕(従業員)	・住宅設備機器はエアコン交換工事、リフォームは塗装工事が増えてくるとみている。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕(従業員)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が数か月一定数のまま推移しているため、未就学児がいる家庭の住宅購入層の来場組数増加は見込めない状況となっている。
<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	・客が節約志向を強めている原因がはっきりしない。ロシアのウクライナ侵攻後もしくは売上に悪い影響はなかったし、経済情勢が特に変化したとも思えない。分からないが故に何か大きな地殻変動が発生しているのではないかと感じる。

▲	スーパー（経営者）	・6月の消費環境は更に良くない状況になる。電気、ガス、水道、そして輸送コスト、食料品製造原料の価格高騰等、経費増が直接的に収益を圧迫し始めている。商品の仕入価格の上昇も、買い控えを恐れ、売値への転嫁が遅れている。7月も更に仕入原料の価格上昇があり、商品の単価は更に上がるので、消費環境は良くない状況になる。この厳しい消費環境、事業環境は、この先しばらく続くとみている。
▲	スーパー（店長）	・今後も商品値上げラッシュが続く予定があることから消費動向を予測すると、食料品への出費は厳しくなるとみている。
▲	スーパー（店長）	・いろいろな場所でイベントが開催となり、スーパーへの客足が遠のいている。
▲	スーパー（企画担当）	・各メーカーの値上げが相次いでおり価格競争も厳しいなか、食品小売業としてはなかなか安い値段を出すことも厳しくなってくるため、苦戦が予想される。
▲	スーパー（営業担当）	・原油価格の高騰や輸入品の供給不安定、円安による価格高騰等により生活環境は厳しくなっており、先行き不安から客の節約志向は更に高まるとみている。
▲	スーパー（営業担当）	・供給側の不足が発生してくるのではないかと不安がある。
▲	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきても、ウクライナ情勢により物価や輸送費の上昇などアパレルも影響を受けている。秋物の定価アップなどもあり、厳しい状況は避けられず不安である。
▲	衣料品専門店（店長）	・インフレによる価格上昇で、買い控えが増えてくると予想される。
▲	家電量販店（店長）	・食品やガソリン価格の値上げなどが客の懐にじわじわと効いている。故障しない限り家電製品の買換えが促されることはないという実感がある。
▲	乗用車販売店（従業員）	・いろいろなものの価格が上がってきている。長納期の車より日々の生活で使用するものに需要がシフトしていくのではないかとみている。自動車業界としては、先行き不透明である。
▲	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	・あらゆる物の値上げにより個人消費もかなり落ちている。この先新型コロナウイルスの感染が収まって、これからというときにこのインフレ状態はかなり危機的である。また、ウクライナ情勢や中国のロックダウンにより、我が国に商品が入ってこないなど、一層不安な状況になることも想定される。今後、飲食店や観光業も値上げラッシュになるとみられ、我々の業界への影響も続くとみている。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・価格高騰は収まる様子がなく、当面は高い水準で続く。買い控え及び節約志向の状況が今後も続くとみている。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・夏季シーズンに向けて灯油の販売量は減る。店頭ガソリン価格も下がる見込みはないので、販売量も伸び悩むとみている。
▲	一般レストラン（経営者）	・一部のエコノミストが今年の景気のピークは5月の上旬ではないかと言っていた。何となくそれは実感しており、5月後半からは客の足取りが悪くなっている。やはり物価の上昇や現実を見た行動になってきているのではないかと。低迷の期間がまたスタートし悪化していくのではないかと懸念している。
▲	一般レストラン（経営者）	・人の動きに制限が掛かっている以上は景気回復は難しい。かといって新型コロナウイルスを無視し、人の動きを活性化させても新規感染者数が増えてしまう。なかなか突破口を見いだせず、この状況は続くとみている。制限が解除されたとしても、国の方で新型コロナウイルスを気にせずどんどん動いてくださいと言わない限り、田舎ほど心理的に守りに入る。景気回復は見通せない。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスによる行動制限がなくなり、皆、自由に外出している。現在の地震の被害調査が終わっても仕事量が増加傾向にあり、タクシー業界の景気は良くなってきている。

	▲	通信会社（営業担当）	・今後、間接税の負担が増すとみている。また今後、中国からの輸入制限も考えられ、市場は悪化の傾向にあるとみており、景気はやや悪くなるとみている。
	▲	通信会社（営業担当）	・コロナ禍やウクライナ情勢の影響の長期化、円安の影響などにより、より悪くなる可能性がある。
	▲	通信会社（営業担当）	・今後、値上がりするものが更に増えることが予想されるため、製品が売れにくくなるとみている。
	▲	美容室（経営者）	・客の様子を見ても、再来店の間隔は短くなってきそうにない。ウクライナ情勢や物価上昇などがあるなか、当店でも多少単価の変更をしており、なかなか厳しい状況がしばらく続くともっている。
	▲	設計事務所（経営者）	・県内の建築設計においては、物価が上昇しているにもかかわらず、低価格による受注が続いており、今後、更に厳しさが増すことが予想される。
	×	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・コロナ禍の出口がみえないために生活への不安を感じ、買い渋りなどにつながる影響があるとみている。それが続く限りは厳しい状況が続くと予想される。
	×	スーパー（経営者）	・原油高、原材料高、円安の三重苦のなかで、可処分所得が伸びない、若しくは可処分所得が下がっている状況のなかで生活しているため、景気は悪くなる。
	×	コンビニ（店長）	・ウクライナ情勢の先行きが不透明なことから原油高が続き、電気代や物価が上がっている。最低賃金は上がったがその割には厳しい。この物価高は、特に年金生活者にとっては手取りも増えていない状況で非常に厳しくなっている。ひどい状況になっていくのではないかとみている。
	×	コンビニ（店長）	・物価の上昇や世界情勢の不安があるなか、景気が上向く要素がない。
	×	通信会社（営業担当）	・食品、飲料、外食、家電製品等、全般的に値上げが発表されている。経費削減で消費者への価格転嫁を避けてきた企業努力は限度を超えている。国内企業物価指数が上昇しており、消費者、各企業共に今後の景気はかなり悪化することが見込まれる。
企業 動向 関連 (東北)	◎	食料品製造業（製造担当）	・各種イベントも開催され、コロナ禍による人数制限も解除されているので、街全体が活気付くとみている。
	◎	建設業（企画担当）	・半導体関連の景況はかなり上がっている。また、新型コロナウイルス感染の状況が一段落していることから、それに伴う上昇もみられるとみている。
	○	食料品製造業（営業担当）	・各種値上げによる購買意欲の低下が心配である。しかし、イベントや夏祭りの実施が続々と決定しており、人の流れができることで、嗜好品である酒の消費も上向きになるのではないかとみている。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルスの終息に期待している。
	○	広告業協会（役員）	・夏に向けてのイベントが今後増えていく見込みである。この時期にGo To Travelが再開となれば、消費意欲も活発となり、広告業界浮上の起爆剤となり得る。
	○	経営コンサルタント	・新型コロナウイルス対策の緩和、円安の落ち着き等が消費促進効果をもたらす。
	○	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルス発生前の日常を取り戻す取組が更に進むとみている。新型コロナウイルスの感染対策をすることで、ホテルでの会合・宴会などが増えてくる。
	○	その他企業〔企画業〕（経営者）	・当地には観光名所があるので、夏に向かって交流人口の流入が期待できる。ガソリン価格などエネルギー価格が高騰しないことを祈るばかりである。
	□	農林水産業（従業者）	・ウクライナ情勢による燃料価格や農業資材価格への悪影響は続くと思われるが、穀物価格の高騰が米価や玄そば価格の上昇につながる見込みがある。
	□	食料品製造業（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻の影響がこれからいろいろと出てきそうである。原料確保や仕入価格アップの対応が必要になってくる。
□	窯業・土石製品製造業（役員）	・需要増加につながる特需が見当たらない。しばらくはこの厳しい状況が続くとみている。	

	□	金属製品製造業（経営者）	・生産能力が上限に達しようとしているため、更なる受注増への対応が難しい。人員増加を計画したいが、ウクライナ問題で先行きが不透明であるため、思い切った策が取りづらい。
	□	電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体開発は順調に推移しており、大きく状況が変化する要素は今のところ見当たらない。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・取引先において、予防保全に対する費用削減が継続して行われると予想する。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・一部既存客からの依頼は受けてはいるが、全体的な売上増加には至っていない。新規客の開拓へ向けた動きが、まだ完全にできる状況まで戻ってはいない。
	□	建設業（従業員）	・工事量は増加が見込まれるが、資材価格の高騰が懸念材料である。
	□	通信業（営業担当）	・明るい素材は見当たらないが、現状維持でも前向きに捉え、客のつなぎ止めに努力していく。
	□	通信業（営業担当）	・想定より半導体不足の影響が長引いており、満足に商品を提供できない状態が続いている。
	□	公認会計士	・建設関係の客では設備関係の建設会社の業績が振るわず、業種により差が生じている。新型コロナウイルス関係の規制がなくなり、飲食、小売、サービスは回復傾向なので、全体としてはやや良い状態を維持するとみている。
	□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・依然として原材料等の価格が高騰している。また、新電力の大幅な価格上昇改定や、新電力の事業停止による電力会社の再見直しによる価格高騰が収益を圧迫している。
	▲	農林水産業（従業者）	・資材等の値上がりで贈答用果物の値段を上げたいが、注文数が減少する心配があるため余り上げることができず、収入が減少してしまう心配がある。
	▲	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・今のまま利益率改善が進まない状態が続くと、事業体への影響が本格化していく。事業体の廃業、M&A、再構築が更に加速する。特に地方経済にとっては、基幹産業の破綻にも直結しかねない事態である。国や行政による一層上の強力な対策、施策が急がれる。
	▲	建設業（従業員）	・資機材高騰局面が継続しており、ウクライナ情勢に起因した資機材価格への悪影響が更に大きくなる見通しである。特に民間発注案件では資機材価格の高騰分を請負価格に転嫁する交渉が難航するケースがみられ、プロジェクトベースで採算が悪化する可能性が高い。
	▲	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルス感染は若干落ち着いた感もあり、ゴールデンウィーク辺りから人流が増えている。物流も増えてほしいところだが、生活必需品等の値上がり品目が増えていることが影響しているのか、物の動きが良くない。主要製造業取引先の生産量もなかなか増えてこない。
	▲	金融業（広報担当）	・地政学的リスクの影響が長期化するなかで、原料不足やコスト高の影響がいよいよ全ての業界や家計にまで広がり、節制機運が再び高まる可能性が高い。
	▲	広告代理店（経営者）	・ウクライナ情勢、原材料の価格高騰、半導体不足の長期化により、景気が後退する。
	▲	司法書士	・建売住宅の着工件数が減っているなどの状況が続いており、すぐに改善が見込める様子ではない。
	▲	コピーサービス業（従業員）	・毎月のように仕入先から値上げの案内が来ており、販売価格に転嫁できるか見通しが立たない。客が納得するよう丁寧に説明するしかない。マイナスの材料に変わりはない。
	×	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・現状の価格競争や原材料価格の高騰等を考えると、小さい業者はなおさら廃業に追い込まれるような状況になっており、どうしたらいいのか悩んでいる。
雇用 関連 (東北)	◎	*	*
	○	人材派遣会社（社員）	・現状、ウクライナ侵攻に端を発するインフレ等、景気を押し下げるリスクはあるものの、旅行業やサービス業などでは新型コロナウイルスとの共存の雰囲気浸透しつつあり、徐々に回復していくと予測している。
	○	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・海外客の受入れが進むと同時に、海外旅行への期待も出てきており、旅行関係の広告の問合せが増えてきている。
	○	新聞社〔求人広告〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、これまで2年連続中止となっていた夏祭りが開催される。

○	職業安定所（職員）	・管内事業所の多くは、ウクライナ情勢や新型コロナウイルスによる海外のロックダウンで、資材の不足・価格高騰や流通の混乱を訴えてはいるものの、受注は堅調の様子で求人数を減らす事業所は少ない。また、卸・小売業や観光業もゴールデンウィークの行動制限解除やウィズコロナの追い風により、求人数を増やす事業所が散見される。
○	職業安定所（職員）	・求人数が求職者数を上回る状態が続いている。
○	民間職業紹介機関（職員）	・数か月間は人材が必要だという企業からの問合せがあった。
○	学校〔専門学校〕	・マスク着用や外国人の入国などで新型コロナウイルス関連での規制緩和が検討されており、緩和されることによって経済活動の活性化が進むことが予想される。
○	その他雇用の動向を把握できる者	・労働力不足を背景に企業の採用意欲は旺盛である。新型コロナウイルスの感染状況の収束見込みにより、この傾向は継続するとみている。
□	人材派遣会社（経営者）	・原材料価格の高騰により、自動車関連企業や金属加工メーカーの経営が非常に圧迫されている。積極的に求人を行うという動きが若干弱くなっている。新型コロナウイルス感染症は落ち着いたがウクライナ情勢に少し不安があるので変わらないとみている。
□	人材派遣会社（社員）	・ウクライナ情勢含め、世界経済の安定がみえない。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向になってきている。開催が決まった夏の祭りやイベントもあり、経済活動の本格的な回復に期待が持てる。
▲	人材派遣会社（社員）	・円安・物価上昇の影響が出てくることで、今後は悪くなると予想している。
▲	アウトソーシング企業（経営者）	・ウクライナ情勢の影響などで、燃料や紙などの価格が高騰するため、利益がなくなるとみている。
×	—	—